



浦河町

人口:11,435人
世帯数:6,637世帯
面積:694.3km²



「優駿ビレッジ「AERU」のホースレッキング」

〒057-8511

浦河郡浦河町築地1丁目3番1号

TEL 0146-22-2311 FAX 0146-22-1240

<http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/>

みどころ: うらかわ優駿ビレッジ「AERU」、JRA日高育成牧場総合施設
馬事資料館、優駿さくらロード、浦河町乗馬公園、赤心社記念館

イベント: 浦河桜まつり(5月)、シンザンフェスティバル(7月下旬)、
うらかわ港まつり(8月)、産業まつり(9月)

特産品: 夏いちご、日高昆布、新巻鮭(銀聖)、銀聖スモークサーモン、味たこ、
いくら、たらこ、揚げかまぼこ、昆布ぎょうざ

様似町

人口:3,885人
世帯数:2,079世帯
面積:364.30km²



「親子岩」

〒058-8501

様似郡様似町大通1丁目21番地

TEL 0146-36-2111 FAX 0146-36-2662

<http://www.samani.jp/>

<http://www.apoi-geopark.jp/>

みどころ: アポイ岳(ユネスコ世界ジオパークに認定)、等澗院、親子岩ふれ愛ビーチ

イベント: さまにウニまつり(5月)※現在休止中、アポイの火まつり(8月)、
さまに地場産フェア(10月)

特産品: 日高昆布、冬島昆布、昆布しょうゆ、銀聖、鮭の山漬、いくら、毛ガニ
夏秋どりいちご、真つぶ、マツカワ(王蝶)、ひだか昆布しょう油チップス、
タコマンマ

えりも町

人口:4,167人
世帯数:2,016世帯
面積:284km²



(豊似湖)

〒058-0292

幌泉郡えりも町字本町206番地

TEL 01466-2-2111 FAX 01466-2-3367

<http://www.town.erimo.lg.jp/>

みどころ: 襟裳(えりも)岬、風の館、百人浜、豊似湖、黄金道路、猿留山道

イベント: えりも「うに祭り」(4月)、えりもの灯台まつり(8月)、
えりも海と山の幸フェスティバル(10月)

特産品: 日高昆布、サケ(銀聖)、マツカワ(王蝶)、毛がに(風極)、真つぶ、
うに、えりも巻(昆布巻)、魚々紫(ととむらさき/醤油)
根こんぶ茶、えりもビーフ(えりも短角牛)

●日高振興局の沿革

日高地域は、夏は爽涼、冬は温暖で積雪も少なく、海や山の幸が豊富なこともあって、遠かなる昔から先住民の民としてのアイヌの人たちが住んでいた。

一五九〇年 天正十八年
松前藩が蝦夷島主となる。

一五九九年 慶長四年
場所制度が定められ、日高は東蝦夷地として漁場が開かれる。

一七九九年 寛政十一年
幕府はロシアに対する警備から、蝦夷地を直轄地とする(一八二二年)。一八五四年の間は松前藩に復讐。

一八六九年 明治二年
北海道開拓使が設置され、当地方は日高国と称した。

一八七二年 明治五年
浦河支庁が設置される。

一八七四年 明治七年
浦河支庁が廃されて、札幌本庁の直轄となる。

一八七九年 明治十二年
郡区町村編成により、浦河に郡役所を設ける。

一八八二年 明治十五年
開拓使が廃されて、函館札幌根室の3県が置かれる。日高は札幌県に所属。

一八八六年 明治十九年
北海道庁が設置される(翌年浦河郡役所の所管が現在の7郡制に変更される)。

一八九七年 明治三〇年
浦河郡役所を廃し、浦河支庁が設置される。

一九三三年 昭和七年
浦河支庁を日高支庁と改称する。

二〇一〇年 平成二十二年
北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴い、日高振興局を設置。